

研究課題：虫垂炎患者における、腹腔鏡下虫垂摘出術の手術時間に関連するCT所見についての後ろ向き研究

1. 研究の目的

虫垂炎患者のどのようなCT所見が、腹腔鏡下虫垂摘出術の手術時間に影響するかの報告はないため、その所見について検討します。

虫垂炎患者のどのようなCT所見が、腹腔鏡下虫垂摘出術の手術時間に影響するかの報告はないため、その所見について検討します。これによって、外科医は手術を施行する前に、手術の難しさ、そして時間を予測することができると考えます。このことは、患者様にとっても治療方法を選択するうえで重要な情報と考えます。

2. 研究の方法

・はじめに

虫垂炎は、小児ではありふれた急性腹症疾患であり、診断には超音波やCTが有効であることは報告されています。診断後の加療方法は外科的虫垂摘出、待機的虫垂摘出術、抗生剤加療から選ばれます。この中で外科的手術については腹腔鏡手術や、炎症が改善したのちの待機的虫垂切除術が広く行われており、手術侵襲を最低限にする方法が広まっています。しかし、技術的には訓練を要し、またどのようなCT所見があると、手術が難しくなるかについての報告はありません。手術の困難さを表す指標として、手術時間に注目し、様々な画像所見の有無と、手術時間の関係について検討します。

研究期間は2013年9月から2020年3月まで腹腔鏡下虫垂摘出術を施行された患者様の、画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。

3. 研究期間

2020年5月（倫理承認を得られた日）から2021年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

画像検査結果、カルテの記載から、病気に関する事柄（検査所見、治療方法）を調べまとめます。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切わからないようにしますので、プライバシーは守

られます。また、この試験で得られたデータが本試験の目的以外に使用されることはありません。

・個人情報分担管理者氏名 田波 穰

6. 研究組織

研究責任者：埼玉県立小児医療センター 放射線科 医長 細川 崇洋
医療及び医学的研究等の当センターにおける実施責任者

研究分担者：埼玉県立小児医療センター 副院長 小熊 栄二
放射線科 部長 田波 穰
放射線科 医長 佐藤 裕美子
医療及び医学的研究等の当センターにおける実施責任者

研究責任医師：細川 崇洋

研究施設名：埼玉県立小児医療センター 放射線科

連絡先：330-8777 埼玉県さいたま市中央区新都心 1-2

電話：048-601-2200

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2020年6月30日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）